

平成 30 年度における各施策・事業の目標・方向性一覧（案）

【大項目(重点事項)①】多様な資源を活用し共に支え合う一体的な地域づくり

○ 新しい「介護予防・日常生活支援総合事業」

中項目	介護予防・生活支援サービス事業	施策・事業名	栄養いきいき訪問
平成 30 年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民や関係者に対して本サービスの周知を図りながら、利用者の増加を図り、生活の質の向上に向けて栄養改善を促進します。 ○ 地域生活応援会議等の場で、本事業の該当者と思われた場合は、積極的に利用を勧めます。 			

中項目	介護予防・生活支援サービス事業	施策・事業名	いきいき訪問
平成 30 年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民や関係者に対して本サービスは専門職が提供する支援であり、効果的なサービスであることの周知を図りながら、高齢者の機能向上及びその人らしい地域への参加・活動へつなげていきます。また、必要に応じて次年度以降の実施方法を検討します。 ○ 地域生活応援会議等の場で、本事業の該当者と思われた場合は、積極的に利用を勧めます。 			

中項目	介護予防・生活支援サービス事業	施策・事業名	くらしいきいき教室
平成 30 年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民や関係者に対して、本サービスが専門職を中心とした支援であり、いかに効果的なサービスであるかの周知を図りつつ、利用者の増加を図り、生活機能の向上、その人らしい地域へ参加・活動することにつなげていきます。 ○ 通所サービスを新規に利用する際には、最初に利用することを推奨します。 ○ 新たに事業所の公募を行い、サービス提供体制を拡充します。 			

中項目	介護予防・生活支援サービス事業	施策・事業名	えぷろんサービス
平成 30 年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民や関係者に対して本サービスの周知を図りながら、利用者の増加を図り、高齢者の地域での自立した日常生活を促進します。また、必要に応じて次年度以降の実施方法を検討します。 			

中項目	介護予防・生活支援サービス事業	施策・事業名	「通いの場」応援隊
平成 30 年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 長島地区にて「桑名市介護支援ボランティア制度」を活用し、現在「訪問型サービスD」を実施している事例をもとに、他の地区においてもサービス提供が円滑に行えるよう、生活支援コーディネーターと連携して担い手の創出やマッチング等を進めていきます。 			

中項目	介護予防・生活支援サービス事業	施策・事業名	シルバーサロン
平成 30 年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民や関係者に対して本サービスの周知を図りながら利用者の増加を図り、高齢者が相互に交流する機会を確保し、閉じこもり防止等に努めます。 ○ また、シルバーサロンのスタッフ・ボランティアに対して研修機会を設けるなど、質の向上にも努めます。 ○ 一般的な「通いの場」との違いが明確になっていないため、より介護予防に資する内容となるよう、補助基準を設け、実績に応じて助成します。 			

中項目	介護予防・生活支援サービス事業	施策・事業名	健康・ケア教室
平成 30 年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 市内の介護保険サービス事業所や医療機関に対して周知を行うとともに、事業登録を促進し、在宅生活を過ごす高齢者の「通いの場」の確保につなげます。 ○ 事業登録やその他関係書類の手続きの簡素化や、安定的な運営の方法等を検討します。 			

中項目	介護予防・生活支援サービス事業	施策・事業名	ささえあい支援事業
平成 30 年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民や関係者に対して本サービスの周知を図り、活動を促進します。また、必要に応じて次年度以降の実施方法を検討します。 ○ 地域生活応援会議の場で、本事業が適切に活用されと思われた場合は、利用を勧めます。 ○ 生活支援コーディネーターを中心に活動団体等の創設に協力します。 			

中項目、施策・事業名	健康増進事業と一体的な介護予防事業の展開		
平成 30 年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 各小学校区(多度、長島地区は中学校区)の地域活動の場である「通いの場」づくりを支援するため、健康の視点を入れた出前講座等を実施していきます。 ○ 各地区において「通いの場」創設を図っていきます。 ○ 「通いの場」において、継続支援を実施していきます。 			

中項目	一般介護予防事業	施策・事業名	介護予防把握事業
平成 30 年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 約10,000人を対象として、「桑名市日常生活圏域ニーズ調査『いきいき・くわな』」を実施します。 ○ 昨年度のニーズ調査の結果から、地域包括支援相談員が閉じこもり予防判定注意、認知症機能判定0・1レベルの方(うち、転出、要介護認定を持つ人などを除く)に対して訪問を実施します。 			

中項目	一般介護予防事業	施策・事業名	料理教室事業
平成 30 年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 食生活改善のための料理教室を開催し、地域の交流の場とします。 ○ 平成 30 年度は 25 回/年開催予定。 			

中項目	一般介護予防事業	施策・事業名	高齢者サポーター養成講座等
平成 30 年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の介護力の底上げを最終目標に、地域の高齢者のサポートを行うため一定の技術・知識を習得した「サポーター」の養成を目指します。 ○ 地域住民を主体とする「サポーター」の活動や、介護予防に資する「通いの場」の運営に結び付けるため、体系的に学べる環境を提供します。 			

中項目	一般介護予防事業	施策・事業名	桑名いきいき体操サポーター養成講座等
平成 30 年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 桑名いきいき体操をツールとして、住民が主体的に介護予防・健康づくりに取り組んでいくことを目的にサポーター養成を実施します。また、他のボランティア養成講座も必要に応じて体系的に学べるよう、地域包括支援センター等、関係機関と連携しながら取り組みます。 			

中項目	一般介護予防事業	施策・事業名	桑名市介護支援ボランティア制度
平成 30 年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者の介護支援ボランティア活動による地域貢献を積極的に奨励するとともに、より良い活動ができるよう支援します。 ○ 介護支援ボランティア登録者の増加を図りながら、高齢者自身の社会参加を通じて介護予防を促進します。 			

○ 生活支援体制整備事業

中項目	生活支援体制整備事業	施策・事業名	生活支援コーディネーターの配置
平成 30 年度の目標・方向性			
○ 地域住民を主体とした「サポーター」、「通いの場」について「見える化」・創出に取り組み、相互のネットワークを醸成するため、市全体を区域とする第1層の生活支援コーディネーター1名及び地域包括支援センターの管轄区域に第2層の生活支援コーディネーター5名を引き続き配置します。			

中項目	生活支援体制整備事業	施策・事業名	協議体の設置
平成 30 年度の目標・方向性			
○ 地域住民を主体とした「サポーター」、「通いの場」について「見える化」・創出に取り組み、相互のネットワークを醸成するため、段階的に第2層の「協議体」を設置していきます。この第2層「協議体」設置に向けては、各関係者との情報共有及び連携・協働を図りながら働き掛けをすすめます。			

中項目	生活支援体制整備事業	施策・事業名	日常生活支援に関する地域住民に対する普及啓発
平成 30 年度の目標・方向性			
○ 生活支援コーディネーターが、日常生活支援に取り組む必要性等について地域住民や民間事業者に対して、地域で開催するワークショップや出前講座などの実施をすすめ、普及啓発を行っていきます。			

中項目	生活支援体制整備事業等	施策・事業名	「通いの場」の把握・見える化
平成 30 年度の目標・方向性			
○ 住民主体により地域交流の機会を提供する「通いの場」の「見える化」・創出を推進します。			

【大項目(重点事項)②】施設機能の地域展開

中項目、施策・事業名	定期巡回・随時対応型訪問介護看護の整備
平成 30 年度の目標・方向性	
○ 施設機能の地域展開には不可欠なサービスであることから、計画の検討に合わせて第 7 期に 1 か所の公募の実施を今後進めていきます。	
中項目、施策・事業名	小規模多機能型居宅介護及び看護小規模多機能型居宅介護の整備
平成 30 年度の目標・方向性	
○ 施設機能の地域展開には不可欠なサービスであることから、計画の検討に合わせて第 7 期に 4 か所の公募の実施を今後進めていきます。	
中項目、施策・事業名	介護・医療連携推進会議、運営推進会議の開催
平成 30 年度の目標・方向性	
○ 地域密着型サービス事業所が運営推進会議で明確な目標を設定したり、地域との連携・ネットワーク構築を意識して会議への参加を依頼したりするなど、積極的な姿勢で取り組むよう促していきます。	

【大項目(重点事項) ③】 多職種協働によるケアマネジメントの充実

○ 地域ケア会議推進事業

中項目	地域ケア会議推進事業	施策・事業名	地域支援調整会議
平成 30 年度の目標・方向性			
○ 市又は地域包括支援センターの主催により、高齢者虐待、多重債務、多分野・多問題等の支援が困難な事例に適切に対応するため適宜開催します。開催にあたっては、高齢者施策に係る支援者、支援機関以外にも、関係機関や関係者に出席を広く呼びかけ、情報共有とより良い支援方針を協議する場とします。			

中項目	地域ケア会議推進事業	施策・事業名	地域生活応援会議
平成 30 年度の目標・方向性			
○ 介護予防に資するサービスの提供及び在宅生活の限界点を高めるサービスの提供を実現するための多職種協働によるケアマネジメントを実践していきます。			
○ より多くの居宅介護支援事業所に参加していただけるよう努めます。			
○ 会議の意義や効果の「見える化」を図ります。			

中項目	地域ケア会議推進事業	施策・事業名	ケアミーティング
平成 30 年度の目標・方向性			
○ 介護保険の理念である「自立支援」を意識したケアプランや、給付の適正化に資するケアプラン作成を促していきます。			

中項目	地域ケア会議推進事業	施策・事業名	地域ケア会議の機能の推進への取組
平成 30 年度の目標・方向性			
○ 桑名市における地域ケア会議に位置付けられているものから抽出された課題において、政策形成等へつながる流れを段階的に整えてまいります。			

○ 在宅医療・介護連携推進事業

中項目	在宅医療・介護連携推進事業	施策・事業名	在宅医療・介護連携に関する相談の受付
平成30年度の目標・方向性			
○ 在宅医療・介護の連携拠点として、把握・提供すべき情報を整理し、必要なときに情報提供できる体制を整え、スムーズな医療と介護の連携を支援します。			

中項目	在宅医療・介護連携推進事業	施策・事業名	在宅医療・介護連携に関する地域資源の「見える化」
平成30年度の目標・方向性			
○ 市民向け「くわな在宅医療・介護マップ」を、市民の方が利用しやすいようリニューアルし、ホームページで公開します。また、関係者向けの「在宅医療・介護サービス地域資源リスト」の定期的な更新を行います。			
○ ゆめはまネットを活用して、「桑名市在宅医療・介護サービス地域資源リスト」を随時更新し、関係者に最新情報を提供できるよう努めます。			

中項目	在宅医療・介護連携推進事業	施策・事業名	課題の抽出及びその解決のための方策の協議
平成30年度の目標・方向性			
○ 第6期計画期間中に行った課題抽出の為のヒアリング等の結果と、地域で目指す姿を関係者と共有し、同職種と多職種で、対応策を検討していきます。			
○ 「桑名市在宅医療・介護連携推進協議会」及び「桑名市在宅医療・介護連携調整会議」等を開催し、事業の進捗状況の把握と評価、改善策の検討を行い、事業計画を立案します。			

中項目	在宅医療・介護連携推進事業	施策・事業名	在宅医療・介護連携に関する地域住民に対する普及啓発
平成30年度の目標・方向性			
○ 第6期計画期間中に作成した「アドバンス・ケア・プランニング」を普及するため、パッケージ化した資料等を作成し、関係者に協力を依頼し、説明・配布します。			
○ 在宅医療や介護、看取りに関する理解の促進のため、地域住民向けの講演会等を開催します。			

中項目	在宅医療・介護連携推進事業	施策・事業名	在宅医療・介護連携に関する医療・介護専門職に対する研修
平成30年度の目標・方向性			
○ 第6期計画期間中に抽出した課題を元に、同職種内で解決策を検討するとともに、連携が必要な課題について、多職種で解決策の検討を行うため、グループワーク研修会を開催します。また、病院との合同研修会や認知症に関する研修会も開催します。			

中項目	在宅医療・介護連携推進事業	施策・事業名	在宅医療・介護サービスの提供に関する情報の共有
平成 30 年度の目標・方向性			
<p>○ ゆめはまネットのさらなる活用方法について運用ルールの整備を進め、利用促進と周知を図ります。</p> <p>また、他自治体との情報連携及び診療報酬に結び付けた活用を行うため、国・県に支援を求めます。</p>			

○ 認知症総合支援事業

中項目	認知症総合支援事業	施策・事業名	「くわな認知症安心ナビ(認知症ケアパス)」の作成及び更新並びに公表
平成 30 年度の目標・方向性			
<p>○ 認知症に関する医療・介護・生活支援など、様々な支援に関する情報をわかりやすく提示することを目標に、適時内容を更新していきます。</p> <p>○ 認知症地域支援推進員で内容や配布・周知方法について検討していきます。</p>			

中項目	認知症総合支援事業	施策・事業名	「認知症初期集中支援チーム」の設置
平成 30 年度の目標・方向性			
<p>○ チーム員での打合せやヒアリング等でチーム員活動の充実に努めます。</p> <p>○ 認知症で支援につながない人をより早期に把握できるよう、「桑名市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査『いきいき・くわな』」から抽出された訪問支援対象者の状態を把握し、適切な抽出基準の検証を行います。</p>			

中項目	認知症総合支援事業	施策・事業名	地域での見守り体制の整備
平成 30 年度の目標・方向性			
<p>○ 地域包括支援センターに配置された「認知症地域支援推進員」を中心に、認知症みんなが安心声かけ訓練(徘徊模擬訓練等)地域特性に合わせた手法で地域住民とともに認知症について考える機会を持ち、取組を進めていきます。</p> <p>○ 民間企業、小・中学校等での認知症サポーター養成講座の開催に力を入れてまいります。</p>			

中項目	認知症総合支援事業	施策・事業名	「認知症ケア多職種協働研修会」の開催
平成 30 年度の目標・方向性			
<p>○ 「在宅医療・介護連携推進事業」による多職種協働研修会の一つのテーマとして、共催で開催し、幅広い事業所・医療機関等から参加してもらえよう努めます。</p>			

中項目	認知症総合支援事業	施策・事業名	「オレンジカフェ」の開催
平成 30 年度の目標・方向性			
○ 認知症本人の参加や若年性認知症の人やその家族等、これまで参加が難しかった人が参加しやすいようなオレンジカフェを桑名市と地域包括支援センターが連携して企画、実施していきます。			

中項目	認知症総合支援事業	施策・事業名	本人・家族の視点重視の取組
平成 30 年度の目標・方向性			
○ 認知症の本人、家族、地域住民、専門職等を集めた「地域ケア会議」の開催や認知症の本人の声を施策に反映させる仕組み(本人ミーティング)の手法を検討します。			

中項目	認知症総合支援事業	施策・事業名	認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進
平成 30 年度の目標・方向性			
○ 認知症地域支援推進員を中心に、効果的な普及・啓発のあり方を検討し関係者以外にも幅広い人に認知症の理解を深めるため認知症市民公開講座等、取り組みを進めていきます。			

○権利擁護事業

中項目	権利擁護事業	施策・事業名	虐待の早期発見・早期通報
平成 30 年度の目標・方向性			
○ 高齢者に対する、虐待の早期発見・早期通報に関する取組を行います。			
○ 困難事例化してからの対応ではなく、一定のリスクを抱える高齢者について、関係機関と連携し、問題の複雑化を予防する対応に努めます。			

中項目	権利擁護事業	施策・事業名	法人後見及び市民後見の提供体制の整備
平成 30 年度の目標・方向性			
○ 認知症等によって判断能力が低下した状態にある高齢者が成年後見制度を適切に利用できるよう、法律専門職を始めとする各種専門職との連携を促進します。			
○ 成年後見制度を適切に利用できるよう、法人後見の推進及び市民後見人の育成を行います。			

中項目	総合相談支援事業	施策・事業名	高齢者見守りネットワーク
平成 30 年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 各地区で「地域共生社会に向けた見守り協力」に関する協定を締結することで、支援が必要な高齢者、障害者、子ども、子育て家庭等を早期に発見して適切な支援に結びつけます。 ○ 日常の事業を通じて気付いた高齢者や障害者、子ども、子育て家庭等の異変を通報していただく等の協定について、公民連携(PPP)推進の観点からも、地域の民間事業所等との協定締結を推進します。 			

○ 地域包括支援センター運営事業

中項目、施策・事業名	地域包括支援センター運営事業
平成 30 年度の目標・方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員を各 2 人以上、合計 8 人の配置に努め、満たない場合は認知症初期集中支援チーム員又は認知症地域支援推進員として活動できる介護支援専門員の配置をするなど職員配置の定着を図ります。 ○ 事業運営方針評価指標に基づき、ヒアリングを実施することにより PDCA サイクルの効果を活用し、センター機能の向上を図ります。 	

○ 介護給付適正化事業

中項目、施策・事業名	要介護・要支援認定の適正化
平成 30 年度の目標・方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 認定調査票の点検を継続していきます。 ○ 市職員が認定調査に同行するなど実態把握の方策について検討します。 ○ 認定審査会において合議体間の変更率の格差の分析手法を検討します。 	

中項目、施策・事業名	ケアプランの点検
平成 30 年度の目標・方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 介護給付適正化システムを有効活用しながら対象者を抽出し、要介護認定者等においても地域生活応援会議の仕組みを活用することで、適切なケアプランの点検を進めます。 	

中項目、施策・事業名	福祉用具貸与・購入及び住宅改修の点検
平成 30 年度の目標・方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 福祉用具貸与・購入及び住宅改修を行った人の居宅を訪問し実態調査を行うに当たり、介護給付適正化システムを有効活用し訪問対象者の抽出を検討します。 	

【大項目(重点事項) ④】 地域共生社会の実現に向けた取組

中項目、施策・事業名	共生型サービスの推進
平成 30 年度の目標・方向性	
○ 高齢者と障害児者が同一サービス事業所でサービスを受けやすくするために、介護保険と障害福祉制度に新たに位置付けられた共生型サービスを円滑に機能させることで、障害者が高齢者となった場合のサービス利用におけるリロケーションダメージの軽減や介護・福祉人材の確保に資するよう努めます。	
中項目、施策・事業名	「多世代共生型施設」の整備
平成 30 年度の目標・方向性	
○ 高齢者・障害者・子どもに対して通所・入所・相談などを包括的に提供する多世代交流・多機能型の福祉施設の整備を進めます。	
中項目、施策・事業名	包括的な相談体制の在り方の検討
平成 30 年度の目標・方向性	
○ 「福祉なんでも相談センター」の実績評価をすることにより包括的な相談支援体制の在り方を検討していきます。	